

MEセンター

連絡先 022-717-7688 (MEセンター受付)



MEセンター



各種生命維持管理装置

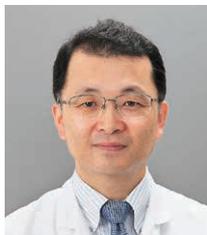
特色

MEセンターは、診療技術部に所属する臨床工学技士29名が配置され、技士同士の連携を大切にしながら、他職種とチーム医療の一員を担い日々業務を行っています。

臨床業務は、手術部、集中治療部、血液浄化部、血管撮影室等で、循環・代謝・呼吸などに関する生命維持管理装置の操作や管理を行っています。また当院は東北地方で唯一、全ての臓器移植が行える認定施設であり、移植待機中の補助人工心臓装着患者に対し、補助心臓センターでの外来業務を含め全面的なサポートを行っています。

その他、医療機器安全使用のための研修会の開催や、医療機器安全管理室と共に毎月第一木曜日に「医療機器点検の日」を設定し、医療機器の安全使用に関する啓蒙活動を行っています。医療機器の有害事象を減らすには、点検や整備だけでなく防ぐことは不可能であり、メディカルスタッフの医療機器への理解や管理に対する協力が重要だと考えています。

私たち臨床工学技士は、随時有益な情報を発信し医療安全と病院運営に貢献したいと考えています。



センター長
齋木 佳克

WOCセンター

連絡先 022-717-7652 (WOCセンター受付)

特色

WOCとは、W:wound(創傷)、O:ostomy(ストーマ)、C:continence(失禁)の頭文字をとったものです。当センターでは、褥瘡や人工肛門・人工膀胱(オストミー)及び失禁などに関する診療上の問題について、各診療科に分散していた医療情報を統合し専門性の高い医療を提供しています。

皮膚・排泄ケア(WOC看護)認定看護師と、各関連診療科の専門医師が連携してストーマや褥瘡、失禁などのWOC領域の診療を、また、理学療法士や医療ソーシャルワーカーなどと連携しながらきめ細かな日常生活の指導、社会復帰への支援を行っています。

また、当院のWOCセンターのメンバーは、毎日の診療の他に訪問看護師や他施設の医療者を対象とした講演や患者会での相談指導など院外での教育活動のほか、関連各学会での研究活動も積極的に行いWOC領域の質の向上に努めています。

なお、診療は予約制ですので、事前に上記受付まで電話連絡をお願いします。



センター長
海野 倫明

栄養サポートセンター

連絡先 022-717-7119 (栄養管理室受付)



NST中央カンファレンス



NST病棟カンファレンス

特色

栄養サポートチーム(NST)は2003年10月にコンサルテーション型NSTとして発足し、2008年からはいくつかの病棟で診療科に特化した病棟単位のNSTカンファレンスを行うようになるなど、院内の栄養管理のニーズにあわせ、その活動内容も変化しています。

栄養サポートセンターの目的は「多職種の協力によって全ての患者さんが適切な栄養療法を受けることができ、職員が栄養療法に関わることを支援するシステムを構築すること」です。患者さんの栄養サポートだけでなく職員の栄養に関する意識や知識の底上げを目指し、各種研修会の開催や広報誌「NST通信」の発行、栄養情報発信などの教育や広報活動にも力を入れています。こうした活動もチーム内で役割を分担して行っており、多職種が協働してチームを運営していくことは組織自体の活性化につながっていると考えます。

在院日数が短くなる昨今、退院後の「栄養連携」にも力を入れていきたいと思えます。



センター長
香取 幸夫